

平成 20 年 1 月 31 日

株式会社 伊勢丹

**平成 20 年 3 月期 第 3 四半期決算のポイント**

1. 実績について

(単位：億円)

	連結			個別		
	実績	前期比	前期差	実績	前期比	前期差
売上高	5,856	100.6%	32	3,461	102.2%	73
営業利益	279	104.1%	11	195	109.0%	16
経常利益	287	103.2%	8	225	117.1%	32
四半期純利益	140	82.7%	▲ 29	117	92.8%	▲ 9

**<連結概況>…売上高、営業利益、経常利益で過去最高を更新。**

\* 損益計上期間が変更となった主な会社

	当四半期	前四半期	理由
岩田屋	9ヶ月	10ヶ月	前期に決算期変更を行ったため
バーニーズジャパン	—	3ヶ月	前期の平成 18 年 8 月に全株式売却

● **売上高…前期から 32 億円の増収**

→伊勢丹個別は 73 億円の増収となりました。店舗別では、本店が前期比 103.3%と引き続き好調に推移し、松戸店を除く全ての店舗で前期を上回りました。

→岩田屋とバーニーズジャパンが損益計上期間変更の影響により、133 億円の減収となりました。一方、海外百貨店グループや新規出店を行ったクイーンズ伊勢丹が大幅な増収となりました。

● **営業利益…前期から 11 億円の増益**

→営業利益の増益に貢献した主なセグメントは、伊勢丹個別が好調であった百貨店業です。

● **経常利益…前期から 8 億円の増益**

→連結に比べて、伊勢丹個別の前期差が大きくなった理由は、海外子会社のイセタンシンガポールからの配当金（連結上消去となる）が前期と比較して 20 億円増加したことによるものです。

● **四半期純利益…前期から 29 億円の減益**

→特別損失として、過年度商品券回収損引当金繰入額 22 億円、済南伊勢丹に対する関係会社整理損 3 億円など計 27 億円を計上しました。

2. 業績予想について

(単位：億円)

	連結		個別	
	予想数値	前期実績	予想数値	前期実績
売上高	7,930	7,817	4,640	4,549
営業利益	330	322	225	218
経常利益	330	334	245	228
当期純利益	150	182	125	123

**<業績予想のポイント>**

連結、個別ともに業績は概ね予想通りに推移しておりますので、中間決算発表時の予想数値からの変更はありません。

以上